

パブリックコメントの実施状況及び結果について

1 実施期間

令和2年11月19日(木)～12月18日(金)まで

2 意見提出者

1人

3 意見数

2件

4 パブリックコメントの意見の要旨と対応

頁	項目	ご意見・ご提案	ご意見に対する市としての対応と考え方	
P14	第2章 第1節	新規認定者の原因疾患は重要で参考になるので地域包括支援センターの方から町内会回覧板で回してもらおうとか、今までとは違う切り口で予防を喚起してみてはいかがでしょうか。	介護度別原因疾患割合等の図表について、第8期計画期中に広報誌への特集記事の掲載や、出前講座等で取り上げ、介護予防、重症化防止への意識付けを図ります。	本文の修正はとくになし
P14	第2章 第1節	脳血管疾患を予防するために、「信州 ACE プロジェクト Action 体を動かす Check 健診を受ける（保健師指導が重要）Eat 健康に食べる」に加えて、塩分の摂り過ぎと虫歯菌対策と諏訪中央病院鎌田實先生の「骨活」を重点課題として予防を喚起してみてはいかがでしょうか。	介護予防・重度化予防には生活習慣病予防・運動・口腔・栄養について若いうちから健康的な生活習慣を確保することが必要であり、年代や状態によって情報やサービスを切れ目なく提供する必要があります。そのため、第8期介護保険事業計画では年代により、サービスが途切れることなく切れ目のない支援を継続するため、健康推進課と連携を密にし、前期・後期高齢者において高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を行います。その中において、介護認定の原因となる骨折・転倒予防、認知症予防についても生活習慣病や運	本文の修正はとくになし

			<p>動・栄養・口腔面など様々視点により周知していきます。また、生活習慣病予防及び合併症につきましても、従前の健康推進課による特定保健指導や重症化予防に係る個別保健指導等により、壮年期からの健康増進を進めるとともに、高齢期になっても切れ目のない支援を継続できるよう、介護保険課においても、前述の一体化実施に加えて、各種介護予防教室や通いの場における講話・健康相談等を通じ、周知、受診勧奨や助言、適切なサービスへのつなぎ支援を行い、介護予防、重症化予防に取り組みます。</p>	
--	--	--	---	--

5 新規認定者の原因疾患

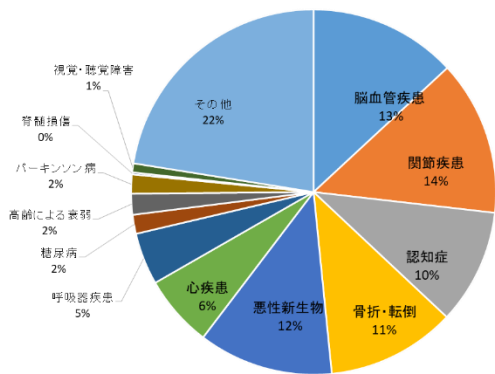
令和元(2019)年度中に初めて要介護・要支援認定を申請し、介護度が確定した者 1,130人(第1・2号被保険者の合計)について、主治医意見書の診断名最上位にあるものを原因疾患として集計しました。

原因疾患で最も多いのは、関節疾患で14%、ついで脳血管疾患が13%となります。関節疾患、骨折・転倒のロコモティブシンドローム疾患(以下ロコモ関連疾患)は合わせると25%となっています。

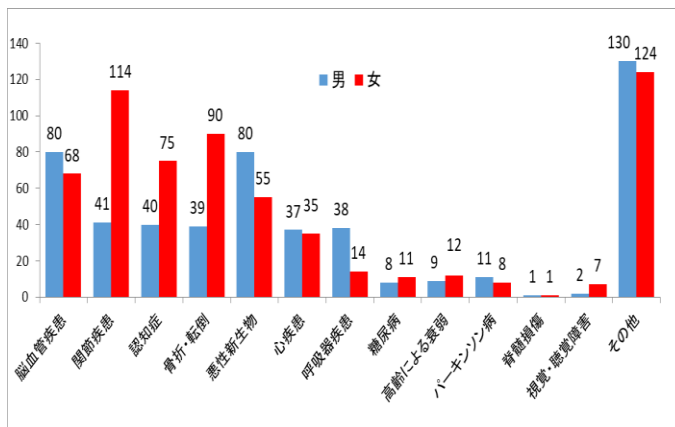
性別で見ると、男性は脳血管疾患、悪性新生物が最も多く、ついで関節疾患、認知症となっています。女性は関節疾患が最も多く、ついで骨折・転倒、認知症の順に多くなっています。ロコモ関連疾患で見ると33%を占めています。

介護度別にみると、要支援者ではロコモ関連疾患が最も多くなっています。要介護1では認知症が48%と最も多く、介護度が重度になると、脳血管疾患が最も多くなっています。

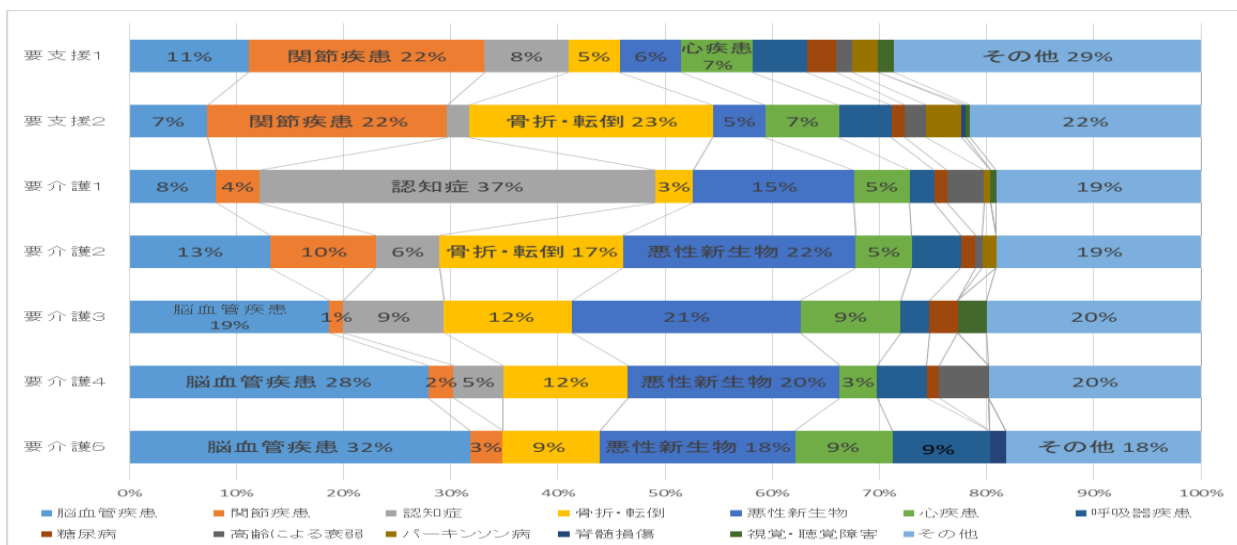
【図表1 新規認定者原因疾患割合(単位:%)】



【図表2 男女別原因疾患人数(単位:人)】



【図表3 介護度別原因疾患割合(単位:%)】



出典:安曇野市介護保険課